

『あるってくるぶ ニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせします。ホームページ <http://artecclub.org/> では、カラーでご覧になれます。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります!!!

アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

森谷 明仙 展<書画>

5月23、24、25、30、31、6月1日

幼児期から親しんでこられた書道を下地に、独自の書の世界を絵と詩とともに展開する明仙さんの作品は、子どもの頃に駆け回っていた野原を思い起こさせる懐かしさがあります。その親しみやすさと優しさは扇子になり、帯となって、私たちの生活の中に潤いを与えてくれるようです。



会期中開かれた、アートトークの様子。この後、会場の皆さんからお題をいただき、その場で作品を書き上げました。

— これからのスケジュール —

◆2008年 アルテクラブ企画展

羽工房木工展<ハンドメイド家具・小物>

★期間：10月16、17、18、24、25、26日

★金土日のみ開廊。12：00～18：00

★会場：三番町ギャラリー

★オープニングパーティー

10月16日(木) 18：00～

★羽工房とは

羽工房は埼玉県の西の端、木のむら都幾川(ときがわ)で、無垢の木を使ったハンドメイドの家具を作る工房です。

羽工房は1985年 東京都西多摩郡羽村町(現 羽村市)で家具づくりを始めました。1992年 都幾川村に工房を移し、本格的にオリジナルデザインの無垢の家具工房として出発。以来毎年展示会を開き、ライフスタイルに合った木の素材感を最大限に引き出し、用と美を兼ね備えた家具づくりをめざしてきました。

今回は、都幾川から秋の森の匂いをお届けします。

<http://www18.ocn.ne.jp/~hane/>

★ワークショップを開催します。

作るもの：曲げ木のカードスタンド

木：クルミ

お湯と熱を使って薄いクルミの板を曲げておしゃれなカードスタンドを作ります。

18日(土)、25日(土)の二日間、各20名位ずつ、開廊時間内随時、制作費無料、屋外の作業なので天候により日程が変わる場合があります。

— ご案内 —

◆織と服 — 神無月の散歩道 — 西村順子

10月22日(水)～26日(日)

10：30AM～6：00PM (26日は5：00PM)

手織のベスト、ジャケット、など、秋の服です。

Gallery 美杉台 飯能市美杉台3-24-7

Tel. 042-973-9099

無農薬野菜、梅製品、古代米なども販売します。

◆今年もアートリンクの季節がやってきました。

Art-link ueno-yanaka 2008

<http://artlink.jp.org> あるってアート 2008 に

お迎えした木谷安憲さんが参加しています。

♪ アルテクラブ・コンサートご報告

森谷明仙展 オープニングコンサート

08.05.22

ソプラノの太田真季さんの歌をお楽しみいただきました。オーバー ザ レインボウから始まり、出会いの喜び、別れの悲しみを乗り越えて迎える明日への希望、フツの生活の中で身近に感じるしあわせ、ふるさとへの思い、などをテーマにした、森谷さんの作品とのコラボレーションでした。



アルテクラブ・クッキング

“本日のめにゅー”

<森谷明仙展>

08.05.22

- しし唐のベーコン詰め
- にんじんとレーズンのごまあえ
- 鶏肉の唐揚げごま風味
- なすとアスパラのおかか炒め
- カツオの五香粉風味揚げ
- かぶのレモン風味
- じゃがいもと玉ねぎの炒めもの

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

<chiaki table studio ホームページ>

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPです。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。

http://www.5d.biglobe.ne.jp/%7Echiaki_t/index2.htm



~~~~~

## ♪ アルテクラブ・コンサート予定

羽工房木工展オープニングコンサート

古楽器の立川淑男さん 10月16日(木)

越生にお住まいの立川さんをお迎えします。アルテクラブ企画展オープニングは3回目になります。懐かしい音色をお楽しみ下さい。

今回は、何かサプライズがあるかも？

あるってアート 2008 “アートなまなざし 小江戸川越新発見！”

★7月12日(土) シンポジウム「アート アンド コミュニティ」 於：川越市立美術館市民ギャラリー

パネラー：加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長)、中村誠(埼玉県立近代美術館学芸会主幹)

小西甫正(アートプロデューサー)

コーディネーター：小野寺優元(あるってアート2008 アートディレクター)

アサヒビール芸術文化財団事務局長として企業の文化事業をリードして来られた加藤氏、東急エージェンシーでアートと地域おこしに携わって来られた小西氏、埼玉県立近代美術館の学芸員の立場から様々な芸術活動を企画・提案して来られた中村氏を迎え、川越の「アート」と「まち」の可能性について、語って頂きました。

◎「観光まちづくり」とは、地域の自然資源・産業資源・文化資源・歴史資源などを活かして「地域住民の満足」「地域資源の保全」「来訪者の満足」という三者の持続的発展を基本としたまちづくりであり、地域が主体になると言う事が、今までの観光概念とは違います。

川越は、歴史資源・文化資源を活かした「観光まちづくり」で、すでに多くの観光客が訪れていますが、さらに「アート」を機軸にする事により『そぞろ歩き』のできるまちへと変わる可能性がある事が指摘されました。それは、アートからの地域振興(地域振興の機軸にアートあり)と言う概念です。アートは常に新鮮で、リピート観光客の確保が可能になります。

◎最近のアート事情では、展示物のみを眺めるだけでなく、ワークショップを開催し、市民が参加できるプログラムが多くなっている事例があげられました。このことは、アートに市民を巻き込む事により、創作の過程に参加し、感動を共有することにより、市民生活から遠ざかっている現代アートに対する理解を深めようとする試みでもあります。

◎川越の「まち」は、「まち並み」のオープンエアミュージアムであると言えますが、そこにアートが介在する事により、それぞれの「場」の持つ意味がいっそう明らかになるとともに、アートを見てまわる行為は、アートツーリズムの様を呈します。ツーリストはアートを巡る途中で、あちこちの路地を通り抜け、城下町のラビリンスに入り込み、今までに無い何かを発見し、異次元空間を体験する事になります。

市民・来訪者のそれぞれが満たされ、住んでみたいまちは、訪ねてみたいまちであり、そぞろ歩きのできるまちとなることが望ましく、川越の可能性と課題が明らかにされたように思います。

★8月21日(木)～31日(日) <あるってアート2008>市内21ヶ所にて開催

○市内各所で、アートの公開制作&展示：参加アーティスト25名(海外アーティスト4名を含む)

○ワークショップ：子どもと一緒にワークショップ・カザグルマワークショップ・藍染ワークショップ・ガチャガチャ葉書ワークショップ・風呂敷ワークショップ・ライブ切り絵+コント江戸の物売り

○参加型アート ○アートガイド ○映像と音楽のコラボレーション：ボサノバライブ ファミリア・ダ・ボッサ

○アートグッズ ○アートカフェ

◎会期中は雨がよく降りましたが、一万人近くの方が見に来て下さいました。紙面の都合により、全部の作品を紹介できませんので、詳しくは、あるってアート2008のホームページをご覧ください。

<http://liveart08.org/event/2008/artist/>

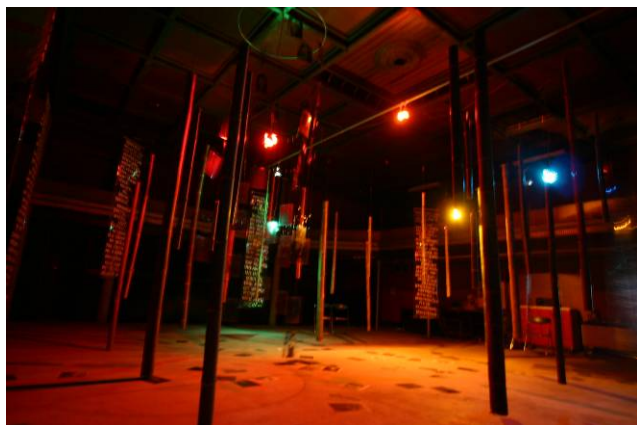


7月30日 川越第一小学校でのワークショップ  
100体を越える人型を制作しました。



その結果、多くの子ども達の姿が喜多院の森の中に出現しました。  
<アーティスト：三宅光春>

★あるってアート 2008 つづき



旧鶴川座内部 <アーティスト：ドロティア・フレイス>



旧織物市場 川越を切り取った風呂敷き

<アーティスト：森 菊五郎>

——— 今年のまち歩き ———

★関東シルクロードを標榜して始まった「織物まち歩き」。  
入間から始まり、越生、秩父、足利、桐生、横浜、江戸更紗の葛飾、上田、南会津そして青梅と織物とそれを伝える人々を訪ねて歩いて来ましたが、今年はさらに北に西に足を伸ばします。それに加え、東京・埼玉の織物産業の地をもう一度訪ねようと考えています。ぜひ、ご参加下さい。産業遺産のまち歩きも、お楽しみに！

★須坂 — 須坂紬と城下町の迷路に行く —  
須坂市は、江戸時代に須坂藩主堀氏の館町として、また大笹街道と谷街道の交差する場として、数々の商取引が行なわれました。その後明治から昭和にかけて製糸業で隆盛を極めました。市街地に現存する蔵は明治から昭和にかけて建築されたものが多く、蔵を生かした商店、博物館、美術館など当時を偲ぶことができます。  
須坂クラシック美術館（蔵）、まゆ蔵（3階建）、田中本家（蔵）、塩屋味噌蔵（蔵）、須坂教会（1933、ダニエル・ノルマン、洋館）、長野保健所須坂支所（大正6年、洋館）、春木町・中町・上中町の町並みなどを訪ねます。  
日帰り 川越7：14～須坂9：35 ￥7,120（片道）  
日程については、ただ今検討中です。が、急に実行する場合がありますので、参加を希望される方は、事務局まで、お問い合わせ下さい。

\*ギャラリー会場担当ボランティアを  
募集しています！

アートサポーターとして、参加してみませんか？

10月17日 12：00～15：00、15：00～18：00

18日 12：00～15：00、15：00～18：00

19日 12：00～15：00、15：00～18：00

24日 12：00～15：00、15：00～18：00

25日 12：00～15：00、15：00～18：00

26日 12：00～15：00、15：00～18：00

\*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。お時間のとれる方は、事務局まで連絡をお願いします。

\*前回は、綿貫さん、斉藤さん、三好さん、小倉さん、新井さんが、担当されました。

\*アルテクラブマネーを獲得し、使ってみよう！ギャラリーサポート：3アルテ

ギャラリー企画提案：3アルテ

まち歩き時の車両提供：3アルテ

まち歩きリーダー：5アルテ（現地調査、資料作り）

発送作業手伝い：1アルテ

コンサートPAなどの補助：2アルテ

など、これからも皆様のご提案をもとに、より良いものにして行きたいと思えます。

<アルテ>通貨が使えるもの（1アルテ=1,000円相当）

アルテクラブ企画展及び所蔵作品の購入、

アルテクラブ主催コンサートチケット、

三番町ギャラリーの使用（作品展、ワークショップ）、

ちあきテーブルスタジオ：お茶（ケーキ付）1アルテ

他にもアルテ通貨の利用できるお店などの協力を募りたいと考えています。

★アートに満ちた元気なくまち>を共に楽しむことと、まち歩きを通して、都市や建築への考察を深めることを目指す<アルテクラブ>の仲間になりませんか。お待ちしております。

★郵便振替 00160-4-179161

アルテクラブ 年会費 ￥3000

宜しくをお願いします！

三番町ギャラリー

〒350-0045

川越市南通町14-3

Tel 049-226-7735

アルテクラブ事務局

川越市南通町14-3-102

草野建築設計事務所内

Tel 049-227-8176

e-mail [kusano@artecclub.org](mailto:kusano@artecclub.org)

URL <http://artecclub.org/>